



ようらん 揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

★この夏、2年生がモノづくりや販売の現場、介護施設や保育園等で就業体験に挑戦しました。



【生徒の感想】「職場体験をどこでしたらいいか全く分からなくて不安だったが、将来の自分を少しイメージできた」「就職について考えていなかった。あと一年は短すぎる」「最初は緊張で言葉も出なかった。笑顔で対応してくれたので終わってみると2日間だけ達成感があった」「先生が見学に来た時は、ほっとしました。気合を入れなおして頑張りました」「細かな作業は大変だったけど、自分に合っている気がした」



☆9月2日(木) 中高連絡会

12校の中学校の先生方にご来校いただき、卒業生との懇談や授業参観をしていただきました。

「すっかり高校生らしくなりましたね」「まだ1度も休んでいません」「授業がんばってますか?」「難しいけどゆっくり授業を進めてくれます」「友達はできましたか?」「仲間ができた。声をかけてくれる人がいて話せるようになった」「今までは休みが楽しみだったのに休校になったときはつまらなかった」



第55回西楼祭のテーマは、**Après la pluie, le beau temps**～雨上がりの虹～「苦しいことや辛いことがあるけれど、次に来るうれしいこと楽しいことに期待しよう」というメッセージです。イベントはYamyさんのライブ、当日の校内祭はステージ発表が中心です。音楽選択者による合唱や日頃の学習成果発表、有志の作品展示、クラスや仲間たちとの熱いステージパフォーマンスとそれぞれの場面に、みんなで前に進もうとする中条校生らしさがあふれ、あたたかな時間を共有することができました。

